

第 2 次恵那市行財政改革行動計画の見直しについて

■平成 24 年度 第 4 回恵那市行財政改革審議会 でいただいた意見（会議後に頂いた意見も含む）

項目	現行計画					見直し案	見直し案についての意見	意見に対する対応	実行責任課
1 地域主権時代を担う人材育成と組織改革 法令遵守の推進により信頼される市政の確立	説明	数値目標	H25	H26	H27	現行の計画どおり	・条例の制定とあるが、条例は決定されたのか。もしそうであれば、見直し案をもう少しきちんと書けたのではないか。	・条例は平成 23 年 12 月議会で制定しました。その後、本条例を詳しく説明したハンドブックを作成し全職員に対し研修を実施しました。職員のより一層の法令遵守意識の浸透に向け、研修や意識調査を行っていきます。 なお、本計画については昨年度の見直しの中で新規に策定したものであり、当面はこの計画の実行に努めてまいります。	総務課
恵那市法令遵守の推進等に関する条例の制定、職員向け研修会、職員意識調査の実施	—	職員研修・職員意識調査	→	→					
【1】目標管理による経営組織目標 5 段階で C 以上の割合が 95%以上	職場風土改革を進めるためには、各部、各課の長の改革へ向けた強いリーダーシップが大切です。部や課など組織の長が、それぞれの部課の使命や、市民サービス遂行上の特性を踏まえた組織目標を設定し、目標による管理を行うとともに、目標を達成するために各個人の目標を「目標管理シート」で設定し、進行管理を行います。組織目標については、年度末に自己評価を行い、評価結果を市公式ウェブサイトや情報公開コーナー、恵那市の経営で公表します。また、組織目標の達成状況については、A：目標を大きく上回る実績、B：目標をやや上回る実績、C：目標どおりの実績の 3 つの合計で 95%以上を目指します。					現行の計画どおり	・達成状況が 60%位だと市民からどのような反応があるのか。市議会から何か申されるのか。 ・どうしても甘い目標になってしまう。 ・何故その目標値にするのか。これが重要。 民間では 何を実施したのか。それで出来たのか出来なかったのか。 実施した内容、やり方を評価する。 ↓ どのようなやり方を考えているのか。 ↓ この段階で指導する。 ↓ それで実施する。 ↓ 上手に行ったのか、どんな問題があったのか。 ↓ そこでまたやり方。問題点に取り組む。 ↓ PDCAを繰り返す。	・平成 23 年度は C（目標どおりの実績）以上が 94.7%でした。ご意見のとおり適正な目標を設定することが重要だと考えます。 ・組織目標については、毎年それぞれの部課等の主要事業や課題を挙げ、その事業や課題について解決すべき方策を立て目標を設定します。解決の方策と目標について、いつまでに、どのように、どの程度まで行うか、または行っているかを年度当初、中間、最終の年 3 回市長のヒアリングを行いながらチェック、進行管理をし、PDCAを行っています。 今後も適正な目標を立て、その目標達成のための努力、取り組みを進めていきます。	企画課
【2】職員の自発的な勉強会や自己研修の奨励	引き続き、職員研修計画に「自主的な研修」の項目を設け、通信教育や他自治体の調査などの自発的な研修を奨励します。それぞれの職場が企画する学習会の開催や、部課長などのリーダーシップによる自発的研修の実施を奨励し、助成制度などにより実施を促します。					現行の計画どおり	一番必要なのは研修することではないと考える。研修して身に付けたことを自分の仕事にどう生かしたか。何を実施（実行）したかという事である。研修を受けて知識を持っても何も実行しなかったならば研修費がもったいない。研修のムダである。必ず提案に結びつけること＝実行して実益を上げること。100%それで意味があるのか効果は小さくてもよい。必ず進んでいること。	・ご意見のとおりと考えます。この項目は自主的な研修を奨励するために設けた項目です。各自で研修を受けたことを職場で研修することにより、他職員のスキルアップも図り仕事に生かせるよう進めます。	総務課

項目	現行計画	見直し案	見直し案についての意見	意見に対する対応	実行責任課																				
【3】職員提案制度の改善実施	職員の業務改善に対する意欲を喚起するために、平成23年度に職員提案制度の見直しを行い、年間の提案件数300件、取り組み件数15件を目標に取り組みます。	職員の業務改善に対する意欲を喚起するために、年間の提案件数300件、取り組み件数15件を目標に取り組みます。 ↓ (意見を反映した見直し案) 改善意識を常に持ち、日々の業務の改革改善に取り組みます。また、職員の業務改善に対する意欲を喚起するために職員提案制度を実施し、年間の提案件数300件を目標に、実行可能な提案については直ちに取り組みを進めます。	・一般企業では1人年間300件が当たり前だ。仕組みをもう少し考えた方がスピードも上がると思う。年間全体で300件では改善の意欲がなかなか上がらず現状維持の世界だ。 ・提案の案件が非常に大きな案件であり、それはそれで良いと思う。私達では毎月1人4~5件が最低。それは小さな改善の積み重ねを狙ってである。これらの1件1件が市民サービスに直結させたい。1歩1円1秒1円を短縮しようとしている。 ・300件提案が出たのに285件は実施しないということでのよいのか。ここが分からない。	・恵那市全体の組織を大きく変えたいということでの提案制度。日常的なものは絶えずあると考えます。ただ、もっとたくさん出るといいと思うので提案制度はもう少し研究します。 (審議会で回答：総務部長) ・提案については、具体的なコストダウンや能率改善、施策の提言まで提案内容が多岐に渡っていました。ご意見のとおり、日々の業務の中での「小さい気付き」から業務の改善につなげることが大切であると考えます。日々の中での提案は身近な職場単位などから取り組みます。 ・本年度142件の提案のうち表彰提案5件は実施に向けた準備を進め、直ちに実行可能な提案28件を全職員に周知しました。	総務課																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>説明</th> <th>数値目標</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">職員提案制度の見直しと実施</td> <td>①提案件数</td> <td>①300</td> <td>①300</td> <td>①300</td> </tr> <tr> <td>②取組件数</td> <td>②15</td> <td>②15</td> <td>②15</td> </tr> </tbody> </table>	説明	数値目標	H25		H26	H27	職員提案制度の見直しと実施	①提案件数	①300	①300	①300	②取組件数	②15	②15	②15	<table border="1"> <thead> <tr> <th>説明</th> <th>数値目標</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職員提案制度の実施(エコの改善提案も含む)</td> <td>提案件数300件</td> <td>300</td> <td>300</td> <td>300</td> </tr> </tbody> </table>	説明	数値目標	H25	H26	H27	職員提案制度の実施(エコの改善提案も含む)	提案件数300件	300
説明	数値目標	H25	H26	H27																					
職員提案制度の見直しと実施	①提案件数	①300	①300	①300																					
	②取組件数	②15	②15	②15																					
説明	数値目標	H25	H26	H27																					
職員提案制度の実施(エコの改善提案も含む)	提案件数300件	300	300	300																					
【4】 エコ意識の向上	未来に責任を持つ事業者として、エコアクション21の手法によりエネルギー起源の二酸化炭素の削減などに取り組みます。	項目削除 ・【3】職員提案制度に組み込み常にエコ意識を持つ取り組みを行います。	・エコ意識の向上は重要なことで、【3】に入れては埋没するような気がする。当初の通り、テーマとして挙げた方がいいと思う。	・ご意見のとおり職員のエコ意識の向上は重要なことです。職員のエコ意識については紙の両面利用などのゴミ減量対策や庁舎内の節電、クールビズなどさまざまな取り組みについて常に職員全員が行っており、エコ意識は根付いていると考えます。	総務課																				
【6】 【5】人事評価制度の見直し	平成23年度に職務実績、能力、職務態度などの評価基準を見直し、評価制度の向上を図りながら任用、昇給、給与などに評価結果を反映します。また、最終評価結果を所属長から被評定者へフィードバックし、人材育成につなげる仕組みを構築します。	職員の意欲の向上と職場の活性化を図り、組織目標、個人目標の達成を効果的に推進するため、現在の勤務評定制度をより公平性、透明性、客観性、納得性の高い、信頼できる人事評価制度に見直します。また、昇任試験制度や希望降任制度導入等についても検討します。	・人事評価は、市役所の内部だけで行うものなのか。たとえば振興事務所の評価は、地域協議会等の評価とまでもいかなくても、その意見を参考にするという事はできないか。 ・1年を通して制度見直しをしないとイケないか。スピードの遅さを感じる。	・ひとつの参考にはさせていただきます。 (審議会で回答：総務部長) ・制度の見直しを25年度にし、26年度実施の予定。もう少し早くできるよう取り組みを進めます。 (審議会で回答：総務部長) ・平成25年度に制度を見直しに掛かり、実施が可能なものは当該年度中に実施します。	総務課																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>説明</th> <th>数値目標</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人事評価制度を見直し、人材育成につなげる仕組みを構築</td> <td>—</td> <td>実施</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> </tbody> </table>	説明	数値目標	H25		H26	H27	人事評価制度を見直し、人材育成につなげる仕組みを構築	—	実施	→	→	<table border="1"> <thead> <tr> <th>説明</th> <th>数値目標</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>勤務評定制度を見直し、人材育成に資する人事評価制度を構築</td> <td>—</td> <td>制度見直し検討、実施</td> <td>実施</td> <td>→</td> </tr> </tbody> </table>	説明	数値目標	H25	H26	H27	勤務評定制度を見直し、人材育成に資する人事評価制度を構築	—	制度見直し検討、実施	実施	→		
説明	数値目標	H25	H26	H27																					
人事評価制度を見直し、人材育成につなげる仕組みを構築	—	実施	→	→																					
説明	数値目標	H25	H26	H27																					
勤務評定制度を見直し、人材育成に資する人事評価制度を構築	—	制度見直し検討、実施	実施	→																					

項目	現行計画	見直し案	見直し案についての意見	意見に対する対応	実行責任課																				
【6】【5】 人事評価制度の見直し			<ul style="list-style-type: none"> ・正規分布させる評価にするのか、絶対評価にするのか。 ・優秀な人とそうでない人と同じ評価、同じ給与では不公平になる。だから正規分布が必要である。 ・出来るならば評価項目を前もって開示しておくが良い。 ・出来るならば数値で表わせるようにならないか。 <ul style="list-style-type: none"> ・出勤率〇%は5点、○%は4点 ・創意工夫提案の提出1件1点、2件2点 ・ 〃 実施1件2点、2件4点 ・社外表彰10点、社内表彰5点 ・交通事故△5点、ケガ△5点、重度△10点 ・年間目標値の達成度難易度評価 改善活動実績10点 	<ul style="list-style-type: none"> ・人事評価制度を見直すなかで、他自治体や民間企業の例も参考にしながら取り組みを進めます。 	総務課																				
【8】【7】 職員研修制度の充実	平成23年度に市人材育成指針を見直し、国派遣研修・海外研修・民間企業研修などを行い、政策立案能力の向上や、地域主権時代に対応できる職員を育成します。	市人材育成指針に基づき、組織力を高める政策形成能力向上や広域観点からの国県派遣、職員の意識改革を視点とした研修など、職員に共通して求められる能力開発を推進するため、研修の充実強化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的にどのような見直しをするのか。 ・能力開発をすると何が良くなる？ ・人材育成…どのような人にしたいのかが明確になっているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より政策形成能力を上げる研修の充実や専門分野の研修制度を充実させます。 (審議会で回答：総務部長) ・職員一人一人の能力を向上させることで、役所全体の底上げが出来、より多くの業務をこなしたり、成果を上げることで、結果的に市の発展に繋がると考えます。 ・市人材育成基本指針の中で階層に応じた能力レベルを設定しています。 	総務課																				
【9】【8】 効率的な組織機構の構築	地域主権、少子高齢化社会等の社会変化に対応し、簡素で弾力的な、主要課題に対応できる効率的な組織を構築します。	現行の計画どおり	<ul style="list-style-type: none"> ・例えばどのような事を考えられているのか。 ・リーダーの引張りで決まってくるのではないのか。 ・そのような人を組織の長に抜てきしたらどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた人員を効率的に配置し、部課等の統廃合、部局間の横断的対応、さらには昇任試験制度なども検討していきたいと考えています。 	総務課																				
【13】【12】 広告収入の確保	<table border="1"> <thead> <tr> <th>説明</th> <th>数値目標</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広告収入の確保</td> <td>—</td> <td>実施</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> </tbody> </table>	説明	数値目標	H25	H26	H27	広告収入の確保	—	実施	→	→	<table border="1"> <thead> <tr> <th>説明</th> <th>数値目標</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広告収入の確保</td> <td>7件以上の募集</td> <td>5件以上の募集</td> <td>6件以上の募集</td> <td>7件以上の募集</td> </tr> </tbody> </table>	説明	数値目標	H25	H26	H27	広告収入の確保	7件以上の募集	5件以上の募集	6件以上の募集	7件以上の募集	<ul style="list-style-type: none"> ・数値目標の見直し案だが、実績はどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・H24年度の実績：角2封筒、長3封筒、市ウェブサイトへ広告掲載をしました。 (審議会で回答：企画課長) 	企画課
説明	数値目標	H25	H26	H27																					
広告収入の確保	—	実施	→	→																					
説明	数値目標	H25	H26	H27																					
広告収入の確保	7件以上の募集	5件以上の募集	6件以上の募集	7件以上の募集																					
【14】【13】 職員定数の適正化	人口減少が予測される中、平成22年4月1日現在で802人の職員総数を、平成27年4月1日現在で767人になるよう職員定数の適正化に努めます。	平成25年4月1日の職員総数が目標の767人に達成する見込みであるため、新たに次の計画を策定する。	<ul style="list-style-type: none"> ・このスタイルだと、普通会計と特別会計も含めての人数だ。普通会計だけ取り出して並行して示した方がよいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・両方について記載するよう進めます。 (審議会で回答：総務部長) 	総務課																				

項目	現行計画	見直し案	見直し案についての意見	意見に対する対応	実行責任課																				
【14】【13】職員定数の適正化			<ul style="list-style-type: none"> どのように減らすのか。(リストラ、首切り) 毎年何人の人が定年になるか。 <ul style="list-style-type: none"> 自然減 従来から退社する人は何人いたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の指定管理や移譲、組織・機構改革、事務事業の見直し、勤奨退職制度の活用などで職員の削減を図ります。 定年予定者 H24：19人、H25：23人、H26：22人、H27：35人 	総務課																				
【16】【13】時間外勤務手当の縮減	組織機構の見直しや内部事務処理の効率化により、平成27年度までに平成21年度対比で6%の縮減を図ります。	<p>現行の計画どおり ↓ (意見を反映した見直し案)</p> <p>組織機構の見直しや内部事務処理の効率化により、平成27年度までに平成21年度対比で800万円の縮減を図ります。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>説明</th> <th>数値目標</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>時間外手当の縮減</td> <td>H21比800万円の縮減</td> <td>△600万円</td> <td>△700万円</td> <td>△800万円</td> </tr> </tbody> </table>	説明	数値目標	H25	H26	H27	時間外手当の縮減	H21比800万円の縮減	△600万円	△700万円	△800万円	<ul style="list-style-type: none"> 現在何時間の時間外給与の支払いがあるか。 毎日時間外勤務申請をしているか。 これらは各部の年間目標値に取り入れる項目だ。緊急で時間外勤務にならないようにさせることが大事。民間ではその分次の日早退で差し引き0にしている。「フレックスタイム」 目標値は金額表示、時間表示がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> H23年度141,970千円の時間外給与の支払いがありました。 時間外勤務は、正規の時間内に処理し得ない真にやむを得ない事務についてのみ所属長が命令しています。権限移譲や人員削減の中、効率的な組織機構の構築により対応していきたいと考えます。 ご意見を踏まえ目標値に金額表示を加えました。 	総務課										
説明	数値目標	H25	H26	H27																					
時間外手当の縮減	H21比800万円の縮減	△600万円	△700万円	△800万円																					
【18】【16】放送設備の統合	情報通信サービスの格差是正を図るため、恵那市ケーブルテレビエリアの拡大により、山岡町ケーブルテレビ、串原ケーブルテレビを統合します。	情報通信サービスの格差是正を図るため、恵那市ケーブルテレビエリアの拡大により、山岡ケーブルテレビ、串原ケーブルテレビを統合します。	<ul style="list-style-type: none"> ケーブルテレビをうまく活用するかの検討が足りない。そういう計画も入れた方がいい。 	<ul style="list-style-type: none"> 放送設備の統合は(情報通信サービスの格差是正のための)ハード整備の計画であり、この計画のとおり進めます。ソフト面についてはご指摘のとおりです。(審議会で回答：総務部長) 	防災情報課																				
【42】【38】庁舎経費の削減	<p>昼休みの消灯やクールビズ、ウォームビズなど環境に配慮したさまざまな取り組みなどにより、庁舎経費の削減を進めます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名称</th> <th>数値目標</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本庁舎を含むすべての施設</td> <td>—</td> <td>実施</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> </tbody> </table>	施設名称	数値目標	H25	H26	H27	本庁舎を含むすべての施設	—	実施	→	→	<p>昼休みの消灯やクールビズ、ウォームビズなど環境に配慮したさまざまな取り組みなどにより、庁舎経費の削減を進めます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名称</th> <th>数値目標</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本庁舎を含むすべての施設</td> <td>電気使用量H23年度比3%の削減</td> <td>H23比3%削減</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> </tbody> </table>	施設名称	数値目標	H25	H26	H27	本庁舎を含むすべての施設	電気使用量H23年度比3%の削減	H23比3%削減	→	→	<ul style="list-style-type: none"> 電気使用量だけか、全ての費用か。 項目を明確にして月々発表し、月々施策を決めないと達成できない。 	<ul style="list-style-type: none"> 電気量のみを考えています。 現在は、CO2削減量を算定するために全ての市有施設の使用量を年1回集計しています。 市役所及び恵南振興事務所庁舎については、3月から毎月の使用量を集計し、削減の取り組みを進めます。 	財務課
施設名称	数値目標	H25	H26	H27																					
本庁舎を含むすべての施設	—	実施	→	→																					
施設名称	数値目標	H25	H26	H27																					
本庁舎を含むすべての施設	電気使用量H23年度比3%の削減	H23比3%削減	→	→																					
【44】【40】効率的で正確な事務処理の実施	業務マニュアル、事務フロー、業務チェックリストを作成し、それぞれの組織の長が業務の進捗管理を行うことで、正確で効率的な事務処理を実施していきます。	現行の計画どおり	<ul style="list-style-type: none"> 業務マニュアルはすでに作成されたのか。(23、24年度にマニュアルが作成されてきていなかったのか) 計画は良い。しかし、どんどん改善しないとダメである。マニュアルが固定化しないように。 	<ul style="list-style-type: none"> 各課でさまざまな業務マニュアルを作成しており、今後も新しい事務事業や業務が出たら引き続き実施していきます。そのため計画は現行どおりとしています。(審議会で回答：事務局) ご指摘のとおり、マニュアルが固定化しないよう日々の業務において常に改善を図っていきます。 	総務課																				

項目	現行計画	見直し案	見直し案についての意見	意見に対する対応	実行責任課																				
【45】 【41】公共工事のコスト削減	5,000万円以上の工事を対象に、計画段階において、公共工事コスト削減委員会専門部会で複数の視点で点検監視を行うことで、公共工事のコスト削減を図ります。	5,000万円以上の工事を対象に、計画段階や発注段階において、公共工事コスト削減委員会専門部会で複数の視点で点検監視を行うことで、公共工事のコスト削減を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> 発注段階を入れただけでコスト削減できるか。 民間では業者に相見積り入札を行う。これは役所も一緒かと思うが、それに安く出来る案も出させる。その案を再度専門部会で検討し、問題なしで採用されれば発注になる。役所内で実施する組織はないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 公共工事の設計、積算は国県などの指針基準に基づいて行っております。そのため計画・発注段階で点検監視を行うことによりコスト削減を図っています。契約の段階では競争入札を基本としています。 	都市整備課 ↓ 建設課																				
【47】 市民課窓口業務委託化の検討	市民課窓口業務について、委託化している先進地の情報収集など調査研究を行い、窓口業務委託化の可否について方針を決定します。	<p>項目削除</p> <ul style="list-style-type: none"> 委託業務の検討を行った結果、現在の市民課のみの窓口を委託化した場合はコストがかかるため、委託化はしない。今後、新庁舎で他課を含め総合的な窓口とした場合に再度委託化を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> この後どうなるのか。計画は出るのか。検討して終わったのか。 委託化すると安く出来るのか。 サービス性は良くなると思うか。 →それは役所の方の給与が高いという事と、高いのにサービス性が低いということではないのか。このことをよく考えて。 	<ul style="list-style-type: none"> 現状の市民課のみでは経費が高くつので委託化は行わないということで検討を終了しました。今後新庁舎のワンフロアにいくつもの課が入ったとき、改めて検討します。 (審議会で回答：市民福祉部長) 市民課の窓口のみで業務委託した場合は現在より経費がかかる試算が出ました。今後は新庁舎の総合窓口などで委託化によるコスト削減が図れるかを検討します。 委託した場合のサービスについては、窓口業務に特化した職員が専門に対応する点で良くなるのが一般的に言われています。 	市民課																				
【49】 市営造林の効果的な運用の検討	市営造林の効果的な運用について検討し、有効活用を図ります。	<p>項目削除</p> <ul style="list-style-type: none"> 木材価格の低迷により財源とすることは困難なため。 	<ul style="list-style-type: none"> 材価という視点だけでなく、間伐の利用、たとえば水源涵養という視点からも検討を加えてもらって、山を守っていただかないと大きな災害が起きる。山を守る、地域を守るという観点からも市営造林の効果的な運用を検討してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 今回、材価の運用が見込めないため行革の行動計画からは削除しました。 災害の防除、里山の保全、活用は総合計画の中で進めていきます。 (審議会で回答：経済部長) 	林業振興課																				
【57】 【51】水道事業の分担金の統一	現在、27万円から52万円まで地域で差がある水道事業の新規加入分担金を統一します。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>説明</th> <th>数値目標</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水道加入分担金の統一</td> <td>—</td> <td>実施</td> <td>→</td> <td>完了</td> </tr> </tbody> </table>	説明	数値目標	H25	H26	H27	水道加入分担金の統一	—	実施	→	完了	現在、27万円から52万円まで地域で差がある水道事業の新規加入分担金を統一します。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>説明</th> <th>数値目標</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水道加入分担金の統一</td> <td>—</td> <td>協議検討</td> <td>→</td> <td>条例改正</td> </tr> </tbody> </table>	説明	数値目標	H25	H26	H27	水道加入分担金の統一	—	協議検討	→	条例改正	<ul style="list-style-type: none"> 計画が後退してしまっているがなぜか。 	<ul style="list-style-type: none"> 水道の普及（供用開始）がほぼ完了する時期と、上水道事業と簡易水道事業の経営統合の時期が平成28年度であるため、この年度を目途に検討を進めます。 	上下水道課
説明	数値目標	H25	H26	H27																					
水道加入分担金の統一	—	実施	→	完了																					
説明	数値目標	H25	H26	H27																					
水道加入分担金の統一	—	協議検討	→	条例改正																					
【59】 浄水場等の管理委託と委託の広域化、組織機構の効率化	恵那南部地域簡易水道施設を管理委託することで、南整備事務所水道整備課を上下水道課へ統合し、組織機構を効率化します。	<p>項目削除</p> <ul style="list-style-type: none"> 管理委託と部署の一元化は完了したため。 	<ul style="list-style-type: none"> 人は減らずに委託費が増加する事にはならないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 委託先では1名の増員体制となりましたが、水道課、下水道課、南整備事務所水道整備課の3課を平成23年4月に統合し3名の減員となりました。 	上下水道課																				

項目	現行計画	見直し案	見直し案についての意見	意見に対する対応	実行責任課										
<p>【72】【62】小中学校の適正配置の検討</p>	<p>小規模教育検討委員会による報告書に基づき、小中学校の教育環境の在り方を具体的に立案し、地域で説明を実施していきます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>説明</th> <th>数値目標</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>具体案の作成と地域説明</td> <td>—</td> <td>順次実施</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> </tbody> </table>	説明	数値目標	H25	H26	H27	具体案の作成と地域説明	—	順次実施	→	→	<p>現行の計画どおり</p>	<p>・視察の際、明智小と吉田小の統合問題の話があったが、計画に出ていない。中学校の統合問題も出ていたが明記されていない。 結果が先走らないよう計画をしていただきたい。</p>	<p>・総合計画で小中学校の適正配置検討事業として、学校の小規模化に対応する教育のあり方について具体的な検討を行い、その結果に基づき学校統合を進めていきます。 ・明智小と吉田小の統合については、小規模教育検討委員会の結果に基づいて進め、併せて恵南地区の中学校をどう統合するかも検討していきます。 (審議会で回答：教育次長)</p>	<p>教育委員会総務課</p>
説明	数値目標	H25	H26	H27											
具体案の作成と地域説明	—	順次実施	→	→											
<p>【73】図書館利用環境の充実</p>	<p>コミュニティセンター図書室の蔵書を充実させ、合わせて図書館システムネットワークを構築することで、市内全体で図書を共有し、図書館資料の提供を充実していきます。</p>	<p>項目削除 ・システムの導入が完了したため。</p>	<p>・視察の際、システムを活用して中央図書館にある本や各コミュニティセンターにある本が借りたい時に借りやすい仕組みを考えるといいという話が出ていた。それが計画に生かされていない。 ・本の運搬を1週間に1回の専用便を使っているということで、専用便ではなく、市が庁内で行っている振興事務所と本庁を行き来する便を活用することを提案した。以前は出来ないという回答だったが、どういうことがネットワークの充実か。</p>	<p>・地域の図書室も図書購入による充実と併せてネットワークの構築を進め、どこの地区に住んでいても読みたい本が読めるということで進めてきました。今回、システム構築が終了し、デリバリーも充実したため計画からはずしました。 (審議会で回答：教育次長) ・恵那市にどこにどれだけの本があるということを中央図書館が全て把握しており、リクエストがあれば届けることができます。 ・市の郵便物はバンで運んでおり、それでは運べない量と重さです。少量ならバンの運搬も可能かと思いますので検討します。 (審議会で回答：教育次長)</p>	<p>教育委員会中央図書館</p>										

項目	意見	意見に対する対応	実行 責任課
長期財政計画 について	<p>今回の長期財政計画では、後期計画の期間内の経常収支比率、実質公債比率で見ると、恵那市の財政に大きな問題はありませぬ。そして、市では、平成 32 年段階での経常収支比率が悪くても現在の全国平均値レベルで、実質公債比率はレッドカードの入り口レベルであり、これらのレベルは我慢できる範囲と考えておられるようです。このことから、市は、人件費、物件費、投資的経費などの抑制に鋭意努めながら、長期財政計画の見直し案に沿って着実に後期計画を進めるとの考えでした。</p> <p>今回の長期財政計画はあくまでも予測にすぎませんが、今、参考にできる唯一の指標でもあるはずで、経常収支比率、実質公債比率は、ともに平成 32 年にはイエローカードの域に突入し、さらに数年後まで上昇・悪化すると予測されています。平成 30 年代前半で、場合により、レッドカードに近づく可能性は全く無いとは言えませぬ。この見直し案の将来部分（H32 年以降）は深刻に受け止める必要があると思ひます。</p> <p>今、現在の恵那市の状態が、長期計画における平成 32 年以降の状態であると想像してみてください。北海道の夕張は論外ですが、市民に重いしわ寄せが押し掛かかっていることになりませぬ。市が長期財政計画の見直し案に沿って計画を着実に進めても、10 年後には上記のような厳しい財政運営になる可能性が全く無いとは言えませぬ。</p> <p>従って、今回提示の長期計画の見直し案は、さらに厳しく厳しく見直して行くべきと思ひます。そのために、以下を提案します。</p> <p>① 市では、平成 31 年まで有利な合併特例債の借入れを続けるとの考えですが、合併特例債の借入れは極力抑制すべきと考えませぬ。合併特例債の借入れは、有利とはいえ、結局実質的借金を積み増すことになりませぬ。</p> <p>② 新規な公共事業は恵那病院以外は極力抑え、投資的経費を抑える。また、リニアの夢に無駄なお金を継ぎ込まないでほしい。これについては今後十分すぎる厳しい検討が必要。</p> <p>③ 箱ものの維持保全（維持補修費の増額）に重点を移すべきと思ひます。</p> <p>④ 人件費の削減。合併や広域という特殊事情はあるにせよ、恵那市の千人当たりの職員数は他の市に比して多すぎる。</p> <p>⑤ 物件費を出来るだけ削減する。統廃合、指定管理、移譲をすすめる。協働による住民参加と自治意識を促進する。</p> <p>市の方から、満足な説明があった場合</p> <p>平成 23 年度の市民意識調査をみると、「市民参画分野」にある「健全財政の運営」の満足度は、「不満+やや不満」が 21%で「市民参画分野」の中では目立って多い傾向がありました。（「満足+やや満足」が 8%） まだまだ、市民にピーアールする余地があります。</p> <p>市長さんも以前から、市民に恵那市の長期財政計画を知ってもらうことが、行財政改革の遂行上重要であると、言っておられます。</p> <p>そのために、今まで以上に機会を作って、市民にピーアールすることが大切と思ひます。それには、とにかく図やグラフを多用して、出来るだけポイントのみを簡明に説明することが、必要と思ひます。どうしても少し詳細な説明が必要な場合には、脚注で別途示すのが良いと思ひます。</p> <p>市民への開示の場は、広報に毎年二回載せるのも良いし、各地域の地域懇談会で 20-30 分説明する時間を採ってもらうのも良いと思ひます。</p> <p>市民意識調査でみると、全体的に</p> <p>重要度： （重要+やや重要）が⇒総じて、H23 年はその割合が H22 年や H17 年より低い傾向にある。</p> <p>満足度： （満足+やや満足）が⇒総じて、H23 年はその割合が H22 年や H17 年より低い傾向にある。</p> <p>両方に共通するのは、各項目とも「無回答」が H23 年は最も多い。</p>	<p>・委員ご指摘事項のとおりであり、市としても経常的な経費をできるだけ圧縮して、必要な投資（今後は新しいものよりも今あるものの統合や更新などが主になると考えていますが）を継続していけるような行財政運営を目指しています。</p> <p>平成 25 年度には公共施設や公共の建物の再編などを含めたファシリティマネジメントに取り掛かるほか、職員定員適正化計画の見直しにも着手いたします。</p> <p>特に地方債残高については、市の将来を見据えた投資も継続する必要があり、毎年の執行や長期財政計画において目標値を超えていかぬようコントロールしていきます。</p>	財務課